

第6回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して

昭和大学 歯学部長 宮崎 隆

平成 24 年度に文部科学省の大学間連携共同事業として採択された「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」につきましては、連携校である北海道医療大学ならびに岩手医科大学と力をあわせて、さらに各歯科医師会との連携のもとに着実に事業を進めています。早いもので、5 年間の事業計画の折り返し点を通過しました。

今年度は 6 月 26 日に第 5 回目のワークショップを開催しましたが、このたび 11 月 20 日に、昭和大学旗の台校舎において、約 50 名の参加者のもとで第 6 回ワークショップを開催しました。前回同様に、事前に準備した資料に基づき、各グループで熱心な討議が行われました。すでに各大学で 3 年生と 4 先生に対して、開発した新しい IT 教材を実地の授業に導入しましたが、今回は各大学での学生アンケートをもとに、今後の改善計画について討議しました。また、今後の展開として歯科医師会とのさらなる連携のもとに 5 年生に対する教育について討議しました。

ワークショップの回を重ねるに連れて、参加者の共通意識が益々高まってきたように感じました。今回は各大学での実施報告と学生アンケートをもとに、改善すべき問題点も明らかにされました。単独の大学だけでは得られない視点で問題点を共有して、お互いに知恵を出し合って改善を進めることができるのが、今回の大学間連携共同事業の特徴であると思います。残念なことに、全ての教員がワークショップに参加するのは困難ですが、新しい IT 教材の活用について、教員間で共通ベースの認識を高める必要があると感じています。今後は本学においては、教授をはじめ、全ての教員に対して IT 教材の試用を検討していきたいと考えています。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力 IT 企業、ならびに各大学の事務関係者に篤く御礼申し上げます。